



2019年7月31日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	15,210円
純資産総額	4,081百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比(マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	95.3%	0.7%
現金等	4.7%	▲0.7%
構成銘柄	56社	±0社

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
2.12%	▲4.33%	9.18%	▲7.59%	27.01%	35.55%	52.10%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

7月米国の月内利下げ期待の高まり、日欧の緩和姿勢の明確化に加え、豪州、インドネシア、ブラジルなど新興国での利下げもあり、世界的な株高となりました。特に米国はNYダウが節目の27,000ドルを突破するなど主要指数が揃って史上最高値を更新する展開となりました。当ファンドも、+2.12%の上昇となりました。当月は、ベンチマークではありませんが日経平均株価は+1.15%の上昇、TOPIX(東証一部株価指数)配当込みは+0.91%の上昇、東証マザーズは+1.17%の上昇でした。これで、年初からの7ヵ月で+21.13%となっています。(同期間の日経平均株価は+7.53%、TOPIX配当込みは+6.17%)。年初からの好調を維持しています。外部環境が不透明な中、保守的な運用スタンスを維持する予定です。引き続き、当ファンドにご期待ください。



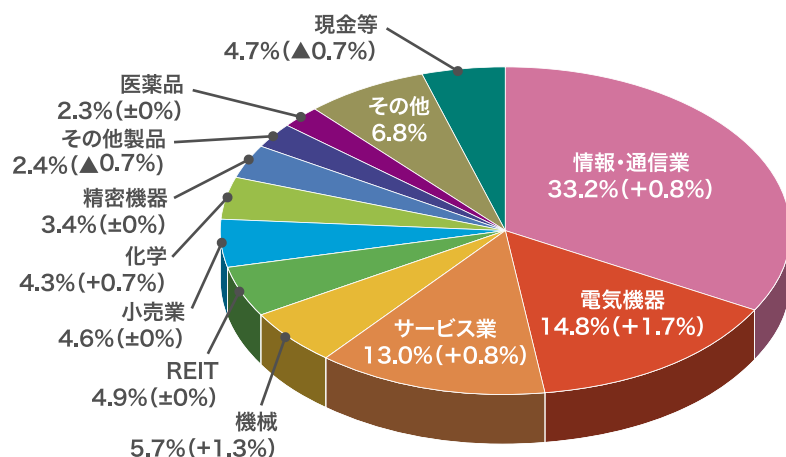
代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

市場概況

前半の日本株は、G20後に開かれた米中首脳会談で双方が貿易協定を継続するとして上昇して始まりましたが、5日発表の米雇用統計が堅調を示したことから早期利下げ観測期待が後退し、米国株が調整したことで上昇幅を縮めました。10日にパウエルFRB議長が早期利下げを示唆したことから米国株は再び上昇を強め、ダウ平均が過去最高値を更新するなか日本株も上昇となりましたが、円高が重荷となって上値は伸び悩みました。後半に入り、半導体や電子部品などの輸出関連株に悲観的な見方が広がり売りが先行しましたが、米国の中国ファーウェイ社への規制緩和や、米国での半導体市場の改善期待から半導体関連株が反転に転じました。ただ、主要企業の第1四半期の決算発表が始まり、その内容が不調だったことから戻り売りも多く、日経平均株価は前月末比245円高(+1.15%)の21,521円と伸び悩んで取引を終えました。

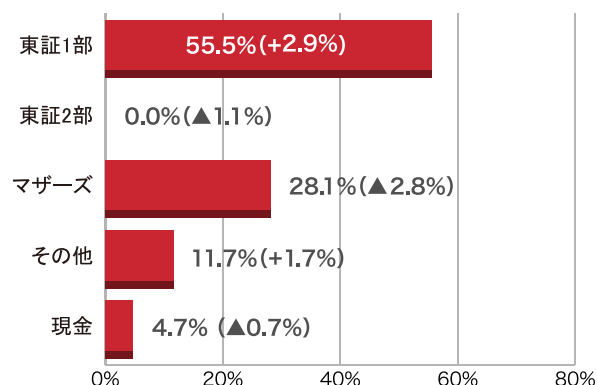
トレーディング部 瀧上 幸男

業種別構成比 ()内は前月比

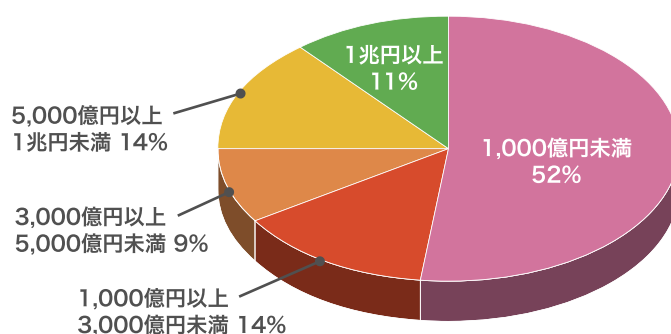


- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

市場別構成比 ()内は前月比



時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

7月は、国内株式市場も当ファンドも上昇しました。組入れ上位10銘柄の中ではエムスリーの+12.54%を筆頭に、ソニー、リクルートHD、任天堂がリターンをけん引しました。また、複数銘柄の入れ替えも実施しました。その結果、当ファンドは、年初から良好なパフォーマンスを維持していますが、引き続き不透明な外部環境に影響を受け難い銘柄を中心に運用しています。現金比率は、5%前後でコントロールしました。また、REITの組み入れ比率も5%程度を維持しています。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

最高運用責任者 伊井 哲朗

組入上位10銘柄の紹介

(2019年7月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
エムスリー		医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。
サービス業	3.8%	
ソニー		世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。
電気機器	3.6%	
日本電産		モータの開発・製造・販売が事業の中心。中期戦略目標「Vision2020」で掲げる2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上、の目標達成に向けて、4月1日付けで吉本新社長が就任し経営体制の一層の強化を図る。創業者である永守氏は、会長兼CEOとして引き続きグループを牽引。
電気機器	3.2%	
SHIFT		「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」を掲げ、中堅から大企業を中心にソフトウェアの品質保証・テスト事業を展開。卓越した実践力を持つ丹下社長、会社の「品格」面から成長を支える松尾副社長により、売上高1000億円超の世界No.1品質保証専門企業を目指す。
情報・通信業	3.2%	
リクルートホールディングス		会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
サービス業	3.1%	
ラクスル		ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。長期的なプラットフォーム価値の最大化を目指した成長投資の効果を期待。
情報・通信業	3.0%	
花王		ファブリック&ホームケア事業(衣料用などの洗剤、消臭芳香剤など)、スキンケア事業(洗顔料、ボディローション、シャンプー・リンスなど)、ヒューマンヘルスケア事業(おむつ、生理用品など)、化粧品事業、ケミカル事業からなる。2018年度の業績は、9期連続増益、6期連続最高益更新、29期連続増配を達成。事業戦略とESG戦略を融合し、グローバルで存在感のある会社を目指す。
化学	2.7%	
任天堂		据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。
その他製品	2.4%	
島津製作所		分析・計測機器大手。質量分析計を中心としたラインナップ拡充によりシェア拡大を図る一方で、消耗品ビジネスの拡大で収益性の向上に取り組む。中国の環境規制が追い風。
精密機器	2.4%	
ユーザベース		法人向け業界情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ソーシャルニュース「NewsPicks」を展開。既存事業のEBITDAマージン30%超を2020年までに、米NewsPicks事業を2021年に黒字化達成を目指す。
情報・通信業	2.3%	

●業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ●比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

決算発表では評価されにくい、中長期での稼ぐ力

この1カ月は決算発表シーズン。前半はコンビニエンスストアなど小売業、後半にかけてロボット、自動車・自動車部品、インターネット関連サービス、商社などの決算が発表され、多くの決算説明会に参加した。こうしたなかでも企業への個別訪問を入れ多くの会社と対話することを心がけている。個別訪問では、駐車場サービス、食品スーパー、資源リサイクル、ジュエリーブランド、画像処理ソフトウェア、リサイクルショップ、レストランチェーン、気象情報サービス、ドラッグストア、競馬施設運営、100円ショップなどの企業取材した。株式市場では、決算発表後、アナリストコンセンサス(アナリストによる業績予想の平均)との乖離で株価が大きく変動する。個別訪問では、短期的な評価ではなく、中長期の稼ぐ力を見極めるようにしている。今回、小売業を数多く訪問した。消費税増税などを控え消費環境に不透明感が増しているが、実感したのは、競争優位企業へのシェアシフトが一段と進み、その過程で勝ち残る企業が鮮明になってくるだろうということ。例えば、成長を続けてきたコンビニ。出店数の減少と高水準の閉店が続いていることで、市場規模が縮小する可能性も出てきているなか、労働力不足による人件費上昇や物流費が上昇。足元でも各社の日販(1店舗1日あたりの売上高)に大きな差(トップ企業の60万円台半ば以下、50万円台前半、40万円台前半と下がってくる)があるなかで、コスト圧迫が続く。100円ショップの業態も同様。4社寡占市場だが、営業利益率で10%程度の会社もあれば2%程度にとどまる企業もある。コスト圧迫分を製品値上げで転嫁しにくい業態であるため、今後、生産性の高い企業が優位な展開となてこよう。一方、世界経済減速と円高によって厳しい収益環境が続く製造業については、中長期視点でロボットなど自動化設備メーカーを中心とした製造業のIoTへの取り組みに注目する。製造業のIoTとは、製造現場の機器をシステムでつなげ、データを分析し、生産性を向上させるというもので、各社が目指すのは製造業プラットフォーム。ドイツ企業が先行するが、中長期的な収益基盤確立に向け、ディープラーニングによる知能化機能やセキュリティの強化など先行投資を続けている。



シニア・アナリスト
上野 武昭

コモンズPOINTからのお知らせ

【POINTで日本知的障害者水泳連盟を応援】

～みんなの水泳の絵 絵画展 今年も開催～

昨年開催された「第21回日本知的障害者選手権水泳競技大会」を皮切りに、各地で開催させていただいた「みんなの水泳の絵」絵画展。応募いただいた連盟登録選手の作品群は、わたしたちに多くの感動と対話の場を生んでくれました。

<https://park.common30.jp/2018/11/point.html>



昨年の受賞作品



みんなの水泳の絵 絵画展2019
打ち合わせ風景

昨年はパラスポーツ応援チャリティーソング「雨上がりのステップ」の寄付金を活用して、コモンズPOINT応援団が絵画展の企画、準備、開催を連盟と協働して行いました。そして今年は、コモンズPOINTの寄付金を活用して同絵画展を開催いたします。今年度の最初の展示先は、11月10日(日)第22回日本知的障害者選手権水泳競技大会が開催される高知市東部総合運動場屋内競技場 くろしおアリーナです。展示ボランティアをご希望の方は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。

commons-mkt@common30.jp

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
コモンズ投信10周年感謝の集い	【仙台】	9月15日(日)	13:00～15:30
	【福岡】	10月20日(日)	10:00～12:30
	【札幌】	11月17日(日)	13:00～15:30
	【名古屋】	12月15日(日)	13:00～15:30
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	【お子様連れ歓迎】	8月14日(水)	13:30～15:00
		8月21日(水)	19:00～20:30
	【お子様連れ歓迎】	8月29日(木)	13:30～15:00
NISA・iDeCo 活用セミナー ～コモンズ 30 ファンドで長期つみたて資産形成～	【渋谷】	8月8日(木)	19:00～20:30
	【浦和】	8月18日(日)	9:45～11:30
	【大宮】	8月18日(日)	13:30～15:15
(親御さんのための)はじめてのコモンズ			
【こどもトラスト】デザイナーみおい先生のお絵かき教室 ～のびのび楽しく絵を描くコツ～	8月17日(土)	13:30～15:00	ウィズダムアカデミー市ヶ谷飯田橋校 (東京都千代田区)
出版記念セミナー 「“投資で勝てる人” になるためのシンプルな法則」 変化はチャンス! ザ・2020ビジョンの長期投資入門	8月13日(火)	15:30～16:45	カフェサルバドルビジネスサロン (東京都中央区)
	8月14日(水)	18:30～19:45	
	8月13日(火)	18:30～20:00	
	8月14日(水)	15:30～17:00	
【満員御礼】こどもトラストセミナーで【セブン&アイ】を体験しよう!	8月4日(日)	10:30～13:30	(株)セブン&アイ・ホールディングス 伊藤研修センター(神奈川県横浜市)
【満員御礼】こどもトラストセミナーで【デンソー高棚製作所】を体験しよう!	8月8日(木)	13:00～16:00	デンソー高棚製作所(愛知県安城市)
【満員御礼】こどもトラストセミナーで【ダイキンフーハ】を体験しよう!	8月22日(木)	14:00～16:00	ダイキンソリューションプラザフーハ東京 (東京都新宿区)

「つみたてキャンペーン」のお知らせ

毎年恒例! つみたてキャンペーン2019好評開催中!

是非この機会をご利用ください。詳細はこちらから <https://www.common30.jp/pdf/tsumitate19.pdf>

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%※(消費税込)が上限となっております。 ※消費税率が10%となった場合には、年率3.3%が上限となります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%※(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。 ※消費税率が10%となった場合には、年税込1.265%が上限となります。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%※(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。 ※消費税率が10%となった場合には、年率0.11%が上限となります。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間／平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 ■ウェブサイト https://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階	